

SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 27

2014.1.22 (No.2765)

第2560地区ガバナー／山崎 堅 輔
 会 長／丸山 行 彦
 会長エレクト／高橋 司 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／五十嵐 晋三 (クラブ奉仕B)
 幹 事／船越 正 夫
 S A A／野崎喜一郎
 会 計／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

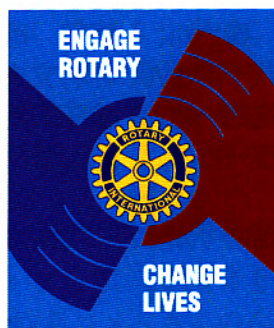
- 本日の出席会員数:56名中41名
- 先々週出席率:90.74%

【ゲスト】

・三條商工会議所 会頭 斎藤弘文 様

【先週のメイクアップ】

- [1.16] 加茂RCへ
 ・衛藤泰男さん、成田秀雄さん
- [1.20] 三條南RCへ
 ・小林敬典さん



「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」
 2013～2014年度国際ロータリーのテーマ



会 長 挨拶

丸山行彦 会長



皆様こんにちは。

最近毎年のことですが、1月の例会は卓話を楽しみます。市長に商工会議所の会頭と聞きたい話が続きます。

今日は会頭の斎藤さんの卓話です。お話し楽しみにしています。

先週はお酒を飲むと酒税がどのくらいかかっているかのお話をさせて頂きました。

ですが、今日は種別の税率の違いについて話をさせて頂きます。種別によって違いますので、分かりやすいように平均的な価格の中でどれくらいの割合が酒税かを話をさせて頂きます。

先ず清酒ですが代表的なものの小売価格の約16%が酒税になります。つぎに焼酎は約30%、ウイスキーは約22%、ビールは約45%です。このように種別によって負担率に大きな違いがありますが、ビールだけがとびぬけて高率で小売価格の半分近くが税金となります。あまりにもビールだけが酒税が高いのでビールの規格から外れたビール味の発泡酒が発売されました。350mlの缶換算ですと約30円税が安くなります。それでもまだ高いというので出たのが第3のビールです。これですと350mlの缶換算ですと約50円税が安くなります。第3のビールは分類上リキュールになりますので、その中味はビール味の缶チューハイと思ってもらった方が分かりやすいです。味に対する技術がどんどん上がって美味しくなってきましたので、第3のビールは売り上げが伸びています。将来的には普通のビールを追い抜くかもしれません。若い人は当

たり前のように第3のビールを飲んでいますが、皆様はいかがでしょう。

酒税の税率は時代とともに変わってきています。たとえば清酒ですが、昭和45年には35%でしたが平成20年以降は16%と変わっています。これについては話すと長くなりますので、またの機会ということで、挨拶を終わらせて頂きます。

幹事報告

船越正夫 幹事

◎山崎ガバナー事務所より

「第2回ロータリー財団セミナー開催のご案内」

日時 2月15日(土)

受付・昼食 12:00~/

セミナー 13:00~16:00

会場 万代シルバーホテル 5階・万代の間

出席 次年度会長及び財団委員長

(欠席の場合は、現年度会長及び財団委員長)

◎佐々木昌敏ガバナーエレクトより

「2014-15年度 RI会長テーマ発表のお知らせ」

2014-15年度RI会長

ゲイリー C.K. ホァン (台湾・台北RC)

テーマ

「ロータリーに輝きを」



ニコニコBOX

丸山行彦さん

三条商工会議所 会頭 斎藤様、本日は卓話ありがとうございます。お話非常に楽しみです。

荻根澤隆雄さん

お年玉付年賀ハガキ、取引先よりの賀状が一等でした。雑収入に繰入れるのか迷っています。

斎藤会頭、卓話ありがとうございます。

斎藤弘文さん

三条商工会議所「新春の集い」が過去最多の参加を得て、盛大に開催する事が出来ました。

樺山 仁さん

あと半月でソチ五輪が始まります。日本勢の活躍が楽しみです。

本日の斎藤会員の卓話に期待しております。

菊池 渉さん

寺の掲示板に書きました。「梨の木(大関)が梅の実(横綱)を結ばないといって、咎めだててはいけません」と。

斎藤さんゴメンなさい。早退します。

成田秀雄さん

斎藤会頭、卓話ありがとうございます。

昨日、工業会総代会で山井太君が、理事長予定者として承認されました。期待しています。

渡辺勝利さん

孫にめでたい事あり。

斎藤弘文会員、卓話ありがとうございます。

中村和彦さん

小雪で仕事が進みます。

斎藤さん、卓話楽しみにしています。

小林敬典さん

斎藤さんの話楽しみにしておりました。

熊倉昌平さん

斎藤弘文会頭の卓話を楽しみにしておりました。

小越憲泰さん

斎藤さん、今日の卓話ありがとうございます。連日大変ですね。

山田富義さん

今日、久しぶりに若づくりで例会出席です。

中村信一さん

斎藤会頭、卓話ありがとうございます。

年末、年始と御多忙と思います。御自愛下さい。

佐野勝榮さん

斎藤会頭の卓話を楽しみにしています。本年のテーマは「自信」を持つ事でしょうか!

野地貞儀さん

おだやかな天気が続いて、助かっております。是非、今年の冬は、このまま終わりますように!

吉井直樹さん

雪の少ない冬でとても助かります。

本日斎藤会頭のお話、楽しみにしています。

明田川賢一さん、大沼公成さん、川瀬康裕さん、石橋育於さん、捧 賢一さん、小出子恵出さん、斎藤真澄さん、松永一義さん、金子俊郎さん、西山徳芳さん、歸山 肇さん、渡辺 稔さん、船越正夫さん、若槻八十彦さん、木村文夫さん、杉山幸英さん、五十嵐昭一さん、会田二郎さん、関川 博さん、渡辺良一さん、米山智哉さん、五十嵐博宣さん

斎藤会頭、本日は卓話ありがとうございます。

お話楽しみにしております。

1月22日分 ¥ 39,000

今年度累計 ¥ 897,100

卓 話



三条商工会議所 会頭 齋藤 弘文 様

みなさん今日は、私にとって1月の卓話は連続して5回目となります。

22年1月27日に、まだ会頭の立場でなくして卓話をさせていただきました。話の内容はすっかり忘れておりますけれど。

そして翌年の23年には、正式に商工会議所に案内がきまして、会頭としての卓話の依頼で市長の次だったんですが、たまたま新春の集いの前で、卓話をさせていただきました。その時は新春の集いで話すことのリハーサルを兼ねてしゃべらしていただきました。

これで終わりかと思っていたら、翌年また会頭という立場で連続して卓話の依頼がありました。そして今年も依頼があり、大変うれしく思っておりますが、実は正直な所大変重荷で困っております。

会頭となりますとそれなりの責任が出てまいりますので、いい加減な話は出来ない訳でありますので、ぜひ来年からは止めていただきたいと思っております。

昨年10月末日をもって、27期の私の役目は終わりました。本当にみなさんのご協力により、何とか任期を満了できました。前会頭の渡辺さん、相談役の熊倉さんを始めいろんな方から支えていただいた3年間だったと思っております。

また今回の28期もはからずも、やりなさいということでございますので、引き受けさせていただきました。受けたからには精一杯やらせていただきたいと思っております。

私の原点は、前にも話をさせていただきましたが、生まれたところが埼玉県熊谷でございます。農家の三男坊に生まれております。18の年まで、親と一緒に田植えをしたり、田草をとったりしてきた訳でありますので、どうやってもその原点は変えることができない。本当に農作業、農作物を作るというのは、大変な仕事でございます。手を抜けばぬいだけの結果しかでてこない、これが植物のいつわざる姿ではないかと思っております。

一生懸命丹精を込めて手入れをすれば、それなりの収穫を得ることができて、やはりどんなことでも目の前にあることに全力を尽くすのが、私の生きざまでございます。それを今も変えずやっております。

実は一昨年コメリさんの60周年に呼ばれて、朱鷺メッセで1,000人を超えるお客様の前で、三条を代表して祝辞を述べる機会をいただきました。その時に私は捧さんの生き様というのと私の生き様を照

らし合わせながら、話をさせていただいた訳でございます。

二宮尊徳が詠った「この秋はあめかあらしか知らねども今日のつとめに田草取るなり」収穫なんかどうなるか分からないけれども、今与えられた草を取るのに精一杯で、全力を尽くすんだという歌を引用させていただいて祝辞を述べさせていただきました。私はこんなつもりで3年間を務めさせていただきました。

昨年10月28日の臨時議員総会で正式に会頭に指名されました。27期の時に会頭に指名された時には、いろんな所から、いろんなお祝いの言葉をいただきました。そして蘭が会社の事務所に一杯飾ることができました。そして祝電も一杯届きました。ところが28期、昨年10月末日までに、おめでとうという言葉一ついただかずに28期の役目を務めることになりました。それをどう解釈したらよいか、新たな気持ちで張り切っている所に誰もお祝いしてもらわなかった訳だから、会頭というのはこんなものかなと思っております。

実は23年の2月に日本商工会議所に新任の会頭の研修会があり、そこに参加いたしましたら、商工会議所の会頭は神社のお札と同じだと、新しくお札をもらった時は恭しく神棚に供え、その時は手を合わせるけれど、その後は手も合わせてもらえない、そんなもんだから、あんまり一生懸命やらない方がいいよというのが正直な話で、渡辺さんも同じ話を聞かれたのではないかと思います。日本商工会議所で教えてもらったのが、忘れもしないことで、大変張り切って研修に行ったときに神様のお札と言われた時は、そんなものかと思ったわけでございますけれど、制度上そんなお札になる訳はいきませんので、精一杯やらせてもらった訳でございます。間違いなしに28期を受けるにあたり、つくづくそんなもんだなと思った訳でございます。古いお札になると価値もない、興味もない、そんな結果かなと思っております。

私は最初に会頭になったときに方針として気付きという言葉キーワードにして3年間務めさせていただきました。やはり何事を起こすにも気付き気持ちがなかったら、何も解決できないんだと、日商の岡村会頭の言葉とかユニクロの柳井社長さんの社員に対するメッセージを引用してこの話をさせていただいた訳でございます。私が就任した時はリーマンショックから2年が経過した時でございますので、何とか立ち直ろうとしている時で、いろいろな課題があつた訳でございます。少なくとも、いろんな課題を解決するためには、やはり情報だろう、情報がない所に何の解決策もない。私はどんな事があつて

も三条商工会議所は航海における羅針盤の役割を果たさなければならない。それには、中央官庁や国会議員やいろんな所に行って、それらの情報を集めてくるのが、会頭の使命の一つだと約束いたしました。

二つ目には三条には大変多くの団体がございます。

私が数えただけでも160を超える経済団体、税務団体等がございます。もちろんその中には休眠の団体もありますが、そうすると一商工会議所が、どんなに頑張ってもたかがしれている。この160以上ある経済団体、若者団体等を少しでも活性化したら、例えば一割活性化することができれば、その力は相当なものがあるということで、これからは商工会議所は主役になるのではなく、サポーター役に徹することを宣言いたしました。何かあった時に、自分でやるのではなく、それをやらせる、そして徹底的にサポートすることにいたしました。

やっぱり最後は情報が集まってくる。そして情報を発信する。その役割を果たすのは商工会議所の職員であります。職員が明るい顔にならなければならない。笑顔がないと人も寄ってこない。だから職員に明るい顔を取り戻す。これら3つの約束をして、スタートさせて頂きました。

1月15日の会員新春の集いの際、私はこの話を440人ほどの前でさせていただいた。出席されていた泉田知事が私の言った「気づき」という言葉を気に入り、県庁に帰ってから、私から聞いた話として「気づきが大事である」ということを職員に話された。県庁内でも「気づきの斎藤」と言われるほど、かなり良いスタートが切れた。

3月8日には顧問・相談役会議がありました。顧問は会頭経験者、相談役は副会頭経験者であり、議員総会に諮る議案は前もって顧問・相談役にお示しし、了解を得なければならない。25日の議員総会に掛ける議案について段取りをして、それも終わりました。ここまでうまく行ったと思った矢先に、3月11日に東日本大震災が起きた。あの震災が起きた時、議員総会に掛けようとしていた事業計画は恐らく何の価値もなくなるだろうと思い、急遽、ほんの短い時間だったが、議案の書き換えをする事態となりました。大変な事でしたが、それもどうにか無事に終わり、議員総会を迎えることが出来ました。

ただ、大変な地震であり、また地震だけならともかく福島原発が停止し事故が起きたという大変な事態であり、色々なことを考えました。そんな時、たまたま三条エコノミークラブの50周年記念式典が3月19日に行われることになっており、私の元にも前もって祝辞をお願いしたいと案内が届いていました。すると、このような大変な惨事の中で全国的に自粛

ムードに包まれている状況であり、式典をやるべきか、やめるべきか、会頭としての判断を仰ぎたいと、その当時の会長が訪ねて来られました。私は即座に「やりなさい」と申し上げました。「若者がそんな事で怯んでどうするんだ。頑張っただけでやれ」と。会長はだいぶ困ったような顔をしていましたが、実際にはやってくれました。その式典には國定市長も来賓で来ていたが、その時の第一声、「やっぱり私の判断は間違っていた。皆さん、申し訳ない。皆さんの勇気でこの50周年をやってくれてありがとう」と話をされた。実は、私の所に来られる前に、市長の所にも相談に行っていた。その時に市長はやめた方が良いというアドバイスをした。これは、どちらが良いとか悪いとかではない、正解のない話だ。少なくとも三条は被災地ではなく、これからいろんな形で被災地を応援し、支援しなければならない。その応援する人が元気を無くしたらどうなるんだというのが私の基本的な考え。私は、そのような前向きな姿勢で、そこから何を気づき、何をしなければならぬかと考え、そのような私なりの結論を出してエコノミークラブに伝えました。それ以来、エコノミークラブの若者達からは、本当に会頭さんありがとうという言葉聞くようになりました。

それから、8月5日には三条夏まつりの花火大会がありました。その直前の7月29日、30日に新潟福島豪雨が発生し、下田で百数十カ所もの土手・河川が切れる大変な被害となりました。信濃川の花火打上会場である河川敷もヘドロが40センチ以上埋まった状態であり、31日には市の方が見えなくなり、花火大会は中止にしてくれと言われました。私も実際に河川敷の様子は見ていたので心配になり、長岡市役所に2日、3日に開催される長岡の花火大会はどうするか電話で聞いてみました。すると、長岡はどんなことがあってもやると言われました。開催までたった3日間しかないのに、長岡は実施する、三条はそれから更に時間があるのに中止する。その事実を三条市民が知ったらどう思うか、花火を楽しみにしている市民にどう言い訳したら納得してもらえるのか、そう考え三条市と直談判し、その結果、超特急で復旧作業が進み、花火大会は開催できました。一つの決断、判断の難しさというのをその時しみじみ教えて頂きました。

その後もどういう訳かこの3年間、毎年天候不順が続き、昨年の花火大会の時も一時は中止という意見も出ていましたが、やろうと決断し、実施しました。運が良いと言うかもしれないが、やはり強い意志を持って事に当たれば、何とかできるということを教えてもらいました。

最初の年で教えてもらったのは「気付き」と同時に、どんな時でも強い意志が必要だろうということ、ただ漫然と行動し漫然と生きるのではなく、生き抜くという強い意志が必要だろうということで、2年目のキーワードを「生き抜く」とさせていただいた。そして、1年目、2年目が過ぎ、最後の仕上げの年は、最後なのでどんなことがあってもやり遂げなければならない、行動するしかない、ということでキーワードを「行動」とさせていただきました。

気付くことで結果は変わっていきます。三条商工会議所では、今年からODA事業を展開しており、ベトナムと3年契約で技術指導などいろいろな事業が始まります。このODA事業も一つの気付きから始まったものです。

私が会頭に就任して間もなく、若手の榎諏訪田製作所の小林さん達が私の所に来て、「アンビエンテメッセに行って、ぜひ現場を見て欲しい」と言われました。私は、新潟が初めてアンビエンテに出展した平成16年の時にも行っています。その時、私はたまたまデザイン関係の委員会に就いていたこともあり、当時の渡辺会頭の命で行きました。2度目のアンビエンテでは、フランクフルトの領事館に表敬訪問に行くという日程が組まれていました。そこで重枝総領事と話をしている中で、たまたま総領事の奥様が新津の出身の方だということが分かり、ちょうどその当時、この地域選出の菊田代議士が外務省の政務官をされていたため、総領事の奥様には、日本に帰る機会があったらぜひ三条へ寄って欲しい、また、その際には隣町の加茂市出身の菊田代議士が政務官をやっているのを話を通しておいて欲しいとお願いした。すると、来年のお盆には日本に帰る予定なので、日本に帰ったら三条まで足を延ばすと言われ、実際に来ていただいた。その時の重枝さんとの話を、東京の議員会館に行き菊田代議士に話をし、菊田代議士へODAに関して話を申し上げた。次の選挙には恐らく対抗馬が出るから、それまでに何か手柄を立てておかなければだめだと、その一つが、外務省の大事な事業であるODAだと、これまでのODAは物を差し上げるにも、ブルドーザーやトラック、工作機械ばかりで、大抵大企業しか出来ないものばかりで、我々中小・零細企業は恩恵を受けられない。実際にその国々にはそうした機械も必要かもしれないが、生活用品も必要なのではないか、そういうものをODAの項目に入れたらどうかと菊田代議士に申し上げた。すると、それが外務省に入り、翌年には三条がパイロット事業として採択されたというのがODA事業のいきさつ、あの時、若い人に言われて、一緒に行って、重枝総領事に会って、そして帰国後

ODAの話をして、それで実現できた。一つ々の気付きが無ければ、駄目だったのではないかと考えている。

もっと典型的な気付きの例もある。昨年、伊勢神宮が式年遷宮を迎え、出雲大社でも60年遷宮が行われた大変記念すべき年となった。その伊勢神宮で使われた和釘、金具は全て三条製のものだ。平成元年の2月に、伊勢神宮から三条商工会議所へ和釘を作って欲しいという要請があった。会議所はその要請を三条工業会に振ったが、当時の下村会長はその要請を断った。それが4月の正副会長会議に報告として上がってきた。当時の副会長は、私、渡辺前会頭、他2名だった。そこで私は下村会長に、「あなたは伊勢神宮の式年遷宮がどういう歴史的な役割を担い、どういう大事なもののなか分かるのか、もしあなたが式年遷宮に対する想いを持っていたら、簡単に断ることはないはずだ、どんなことがあってもやるべきだ」と反論したが、やる必要はないと言われた。それでも引かず、いいからやる、戻してくれと言ったら、2月の話だからもう無くなったでしょうと言われた。そこで、伊勢神宮に確認を試みた。今まで、和釘は伊勢市内の木造船会社を作っていたが、どんどん職人が減ってきており、自分の店だけで賄い切れない部分を何とかしたいという状態で、当時はまだ切迫感が無かったため、そのままになっており、三条が受けてくれるなら有難いということで話はまとまり、7月に委員会を立ち上げ、無事平成3年には納品が完了し、それが今日に至っている。あの時、会長の報告を聞いて、気付かないでいたら、和釘や金具が伊勢神宮に収まっていたかどうか分からない。

歴史は2度と繰り返すことはできない。あの時、かなり強い決意で三条が手を挙げてやったということが、今日に繋がっている。お蔭で、遷御の儀という滅多に出られない儀式にも出席させて頂く機会をもらい、私の一生の宝になると思っている。

私はこれまで、私が何をやったとか、こういう自慢話はなるべく避けてきた。しかし、新春の集いで「日本にとっても、日本人にとっても、経営者にとっても、従業員にとっても、一番大事なのは自信だ。韓国問題、中国問題すべからく、日本人の自身の無さ、腰の引けた日本人が自分自身で駄目にしていないのか、日本人はもう少し自信を持つべきだ」と訴えた。そして、最後に「自分の自信を取り戻すにはほらを吹くこと、自慢話をする事だ。ぜひ2次会、3次会は本寺小路に行って、お互いほら話をして欲しい」と言って締めたつもりです。そんなことで、今日はいえ自慢話に近い話をさせていただきました。

ご清聴ありがとうございました。

2

月の行事予定



三条ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 ◆三条南RC 「ショートスピーチ」	4 ◆三条北RC 「世界理解月間」 第2560地区 国際奉仕委員長 山貝 勉 様	5 ◆三条RC 「外部卓話」 マヂカムジカ 梅田 謙 様	6 ◆三条東RC 「会員卓話」 国際奉仕委員長 佐藤公信 会員	7	8
9	10 ◆三条南RC 「外部卓話」 越後のお宿 わか竹 女将 塚野隆子 様	11 成人の日 ◆三条北RC 休会	12 ◆三条RC 夜例会「新年会」 18:30～ 於 越前屋ホテル	13 ◆三条東RC 「外部卓話」 三条信用金庫 地域経済研究所 所長 味田丈夫 様	14	15
16	17 ◆三条南RC 「世界理解月間」 米山奨学生 チャン・ナム・ソン君	18 ◆三条北RC 「歴代会長卓話」 第16代会長 木宮 隆 会員	19 ◆三条RC 「会員卓話」 中村信一 会員	20 ◆三条東RC 「外部卓話」 (有)サクセスギャラン ティー新潟 代表 小杉隆雄 様	21	22
23	24 ◆三条南RC 「会員卓話」 田中悌司 会員	25 ◆三条北RC 「PETS報告会」 岡田 健 会長エレクト	26 ◆三条RC 「PETS報告」 高橋 司 会長エレクト	27 ◆三条東RC 「PETS報告会」 長谷川恵慈 会長エレクト	28	

※近隣RC例会変更のお知らせ！(記帳できます)

- 燕 RC 2月20日(木) 夜例会
- 加茂RC 20日(木) 夜例会
- 吉田RC 21日(金) 夜例会

記帳場所

燕三条ワシントンホテル
加茂市産業センター
山岸会計事務所

次週例会 2月5日 「外部卓話」
マヂカムジカ 梅田 謙 様

次々週例会 2月12日 夜例会「新年会」
18:30～ 於 越前屋ホテル

